



やなぎしましょう 柳島小だより

令和7年 1月10日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 赤池 理

学校教育目標 — 21世紀を担う柳島小学校の子どもたち —
豊かな心を持ち、意欲的にたくましく生きる子どもの育成

新年明けましておめでとうございます。

2025年が始まりました。年末年始はいかがお過ごしでしょうか？1月6日に久しぶりに雨が降りましたが、年末年始は晴れていて、とても気持ちの良い日が続きました。どこかへ出かけるにも天候を気にせずに過ごせたのではないのでしょうか。と書いてみたものの、場所によっては、寒波の影響で大雪になっている地域もあり、雪かき等で大変苦労されているようです。

1月7日、学校に、子どもたちの元気な声に戻ってきました。12月24日に「良い年を〜！」と信号で声をかけあってから、あっという間に2週間が過ぎました。笑顔で元気よく登校してくる姿を見てると、こちらもとてもうれしくなります。今年度は残り3か月。3か月しかないのか、3か月もあるのかは人それぞれです。いずれにしても、充実した3か月にしていきたいと思えます。

新しく着任した先生の紹介です。

12月いっぱい、米本正教諭が一身上の都合で退職しました。3年間、多くの児童、保護者の皆様と共に歩んできたのにとっても残念です。その後任として、1月より2年3組の担任として長里徹應教諭が着任されました。どうぞよろしくお願ひいたします。

インフルエンザに気を付けましょう。

朝会で養護の五十嵐先生が風邪の予防について話してくれました。予防には、たっぷりの睡眠と栄養がとても大切です。冬休みの間は、生活リズムも乱れがちだったかもしれませんが、切り替えて、早寝早起きを意識させていきたいものです。また、適度の運動も必要です。寒くても外で元気いっぱい過ごすように声掛けもよろしくお願ひいたします。ぜひとも家族全員の体調管理にご留意ください。

書き初めをしました。

書き初めには1年の抱負や計画、おめでたい言葉などを書き、目標成就や新年をお祝いする意味が込められています。書き初めの起源は、平安時代の宮中にさかのぼります。それが江戸時代には庶民の間でも知られるようになり、新年に元旦の朝に初めて汲んだ水で墨をすり、その年の恵方に向かって詩歌や文書を書く行事として広がっていきました。(2025年の恵方は西南西だそうです。)

明治時代に入ると、学校の書道教育にも取り入れられ、現在のような習慣として定着していきました。書き初めは15日前後の小正月まで飾っておき、その後「どんど焼き」でほかのお正月飾りとともに炊き上げます。燃やす際に炎や燃えかすが高く舞い上がると、字が上達すると言われていいます。

